

弘前市学校施設個別施設計画



令和2年3月

令和3年10月 変更

弘前市教育委員会

目 次

■ 第 1 章 ■	本計画の背景と目的	
	1-1 背 景	1
	1-2 目 的	1
	1-3 計画期間	1
	1-4 位置付け	2
	1-5 対象施設	2
■ 第 2 章 ■	学校施設の実態	
	2-1 対象施設の一覧	3
	2-2 児童生徒数の変化	5
	2-3 学校施設の配置状況	6
	2-4 施設関連経費の状況	7
	2-5 学校施設の保有量	7
	2-6 学校施設の老朽化状況の実態	8
■ 第 3 章 ■	基本的な考え方	
	3-1 施設整備の優先順位の考え方	1 3
	3-2 施設整備の方向性	1 4
	3-3 施設整備の水準	1 5
■ 第 4 章 ■	長寿命化の実施計画	
	4-1 維持・更新コストシミュレーション	1 8
	4-2 施設整備の基本的な方針	2 0
	4-3 今後 5 年間の実施計画	2 3
■ 第 5 章 ■	個別施設計画の継続的運用方針	
	5-1 推進体制等の整備	2 4
	5-2 フォローアップ	2 4
参考資料	国庫補助事業の概要	

第1章 本計画の背景と目的

1-1 背景

本市では、人口増加が続いていた昭和50年代までに、道路、橋りょう、上下水道、福祉施設など多くの公共施設を整備してきましたが、学校施設においても昭和40年代から50年代の児童生徒急増に対応するため、多くの校舎等を整備してきました。

現在、これらの時期に新築した校舎等は老朽化が進行していることから、大規模改修の時期を迎えているとともに、今後は一斉に建替の時期を迎えることから、多額の費用確保が必要となることが見込まれます。

人口減少や少子高齢化が進む中で、国・地方ともに厳しい財政状況であり、建物が老朽化したから建て替えるという従来の整備手法では対応が困難となっていくことを見込まれ、どのようにして学校施設を維持・更新していくのが課題となっています。

1-2 目的

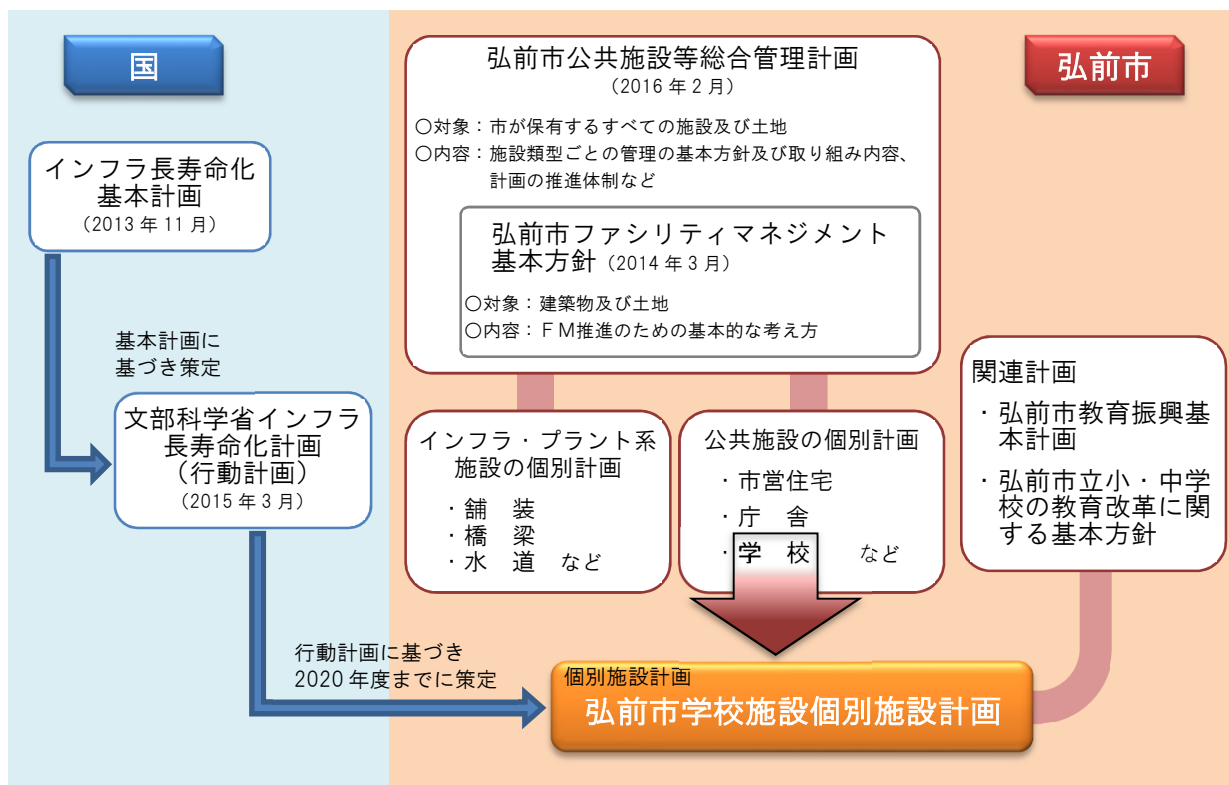
本計画は、限られた予算の中で、安全・安心・快適な教育環境を確保していくため、これまでの対処療法的な「事後保全」から、計画的な「予防保全」へ転換し、より良い教育環境を確保したうえで、効率的・効果的な老朽施設の再生によるトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ることを目的とします。

1-3 計画期間

計画期間は、令和2年（2020年）から令和41年（2059年）までの40年間とします。

ただし、改築・改修の実施状況や、社会的要求水準の変化により状況が変化することを考慮するとともに、3年ごとに実施する建築基準法第12条に基づく調査・点検の結果を踏まえ、5年をめぐりに計画の見直しを行うこととします。

1-4 位置付け



1-5 対象施設

本計画における対象施設は以下のとおりとします。

なお、棟数は改築や改修を一体的に実施することが想定される棟を一つの建物として整理していることから、施設台帳上の棟数とは異なります。

	校数	棟数 (200㎡以上)	延床面積
小学校	32校	107棟	154,635㎡
中学校	16校	69棟	98,974㎡
計	48校	176棟	253,609㎡

第2章 学校施設の実態

2-1 対象施設の一覧

	学校名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度	棟数	学級数			児童 生徒数
						通常 学級	特別 支援	合計	
1	自得小学校	鬼沢字菖蒲沢109の4	2,622	S48	3	6	2	8	72
2	高杉小学校	高杉字神原7の1	4,275	H25	3	6	2	8	149
3	船沢小学校	細越字早稲田42	3,095	S54	2	6	1	7	93
4	三省小学校	中崎字野脇142の2	2,411	S52	3	3	1	4	38
5	致遠小学校	浜の町北1丁目7の1	6,974	S48	6	13	2	15	363
6	城東小学校	大久保字西田105の40	5,597	H15	2	12	3	15	272
7	福村小学校	福村1丁目1の1	5,318	S55	4	12	3	15	352
8	豊田小学校	豊田1丁目4の1	4,869	S44	5	11	4	15	332
9	堀越小学校	門外1丁目3の3	6,075	H19	2	12	2	14	355
10	文京小学校	中野1丁目1の1	6,321	H25	2	9	5	14	255
11	千年小学校	小栗山字川合119の7	4,081	S48	4	12	1	13	288
12	大和沢小学校	狼森字天王12の1	2,779	H元	2	4	2	6	45
13	小沢小学校	大開2丁目5の1	5,740	S51	4	9	2	11	259
14	青柳小学校	悪戸字村元7の2	2,664	S55	2	4	0	4	42
15	東目屋小学校	桜庭字清水流39	3,572	S52	3	5	2	7	53
16	和徳小学校	代官町107の3	6,044	S44	4	8	4	12	240
17	時敏小学校	宮園1丁目5の1	7,233	S52	4	13	4	17	381
18	城西小学校	新町236の1	5,042	S41	5	7	4	11	199
19	第三大成小学校	富田町47	5,681	H5	4	11	5	16	294
20	朝陽小学校	在府町36	4,941	S62	3	6	4	10	161
21	桔梗野小学校	桔梗野2丁目21	4,805	S46	4	12	3	15	275
22	石川小学校	石川字庄司川添19の1	4,213	S39	5	6	2	8	145
23	西小学校	茜町3丁目2の1	4,574	S47	4	6	3	9	145
24	松原小学校	松原東2丁目17	4,993	S54	3	8	2	10	225
25	東小学校	城東中央5丁目6の1	5,598	S56	3	13	3	16	356
26	北小学校	青山3丁目15の1	6,598	H2	3	12	3	15	276
27	大成小学校	御幸町13の1	6,632	H16	3	11	4	15	264
28	裾野小学校	十面沢字轡293	3,794	H28	2	6	1	7	68
29	新和小学校	青女子字桜苅292の4	3,678	H13	2	6	3	9	155
30	岩木小学校	五代字前田451	8,578	S48	6	16	4	20	449
31	常盤野小学校	常盤野字湯の沢45の4	1,310	H10	2	3	0	3	13
32	相馬小学校	黒滝字二ノ松本2の4	4,528	S50	3	6	2	8	109
小学校計			154,635		107	274	83	357	6,723

	学校名	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度	棟数	学級数			児童 生徒数
						通常 学級	特別 支援	合計	
1	新和中学校	種市字小島57の2	4,348	S55	4	3	2	5	75
2	船沢中学校	富栄字浅井名1	3,325	S59	4	3	2	5	41
3	東目屋中学校	桜庭字清水流63の3	3,579	S37	4	3	2	5	46
4	第一中学校	和徳町363の13	11,096	S52	9	16	4	20	572
5	第二中学校	平岡町72	8,596	S43	8	12	3	15	396
6	第三中学校	豊原1丁目3の3	10,105	H9	4	12	6	18	426
7	第四中学校	樹木5丁目2の6	8,791	S56	3	11	3	14	375
8	第五中学校	川先2丁目4の1	6,383	S42	6	11	4	15	376
9	石川中学校	石川字庄司川添19の1	3,873	S41	6	3	0	3	66
10	北辰中学校	高杉字五反田191	3,671	S45	4	3	2	5	106
11	裾野中学校	十面沢字湯ヶ森40	3,548	S56	3	3	0	3	28
12	南中学校	原ヶ平字山中20の13	7,892	S58	5	10	2	12	297
13	東中学校	末広3丁目2の1	6,825	H3	1	10	2	12	350
14	津軽中学校	五代字早稲田478	8,125	S55	3	9	1	10	250
15	常盤野中学校	常盤野字湯の沢45の4	2,778	H10	2	2	0	2	8
16	相馬中学校	紙漉沢字山越48	6,039	H11	3	3	2	5	72
中学校計			98,974		69	114	35	149	3,484
小・中学校合計			253,609		176	388	118	506	10,207

※学級数及び児童・生徒数は、令和3年5月1日時点。

※建築年度は、もっとも古い棟の建築年を採用。

2-2 児童生徒数の変化

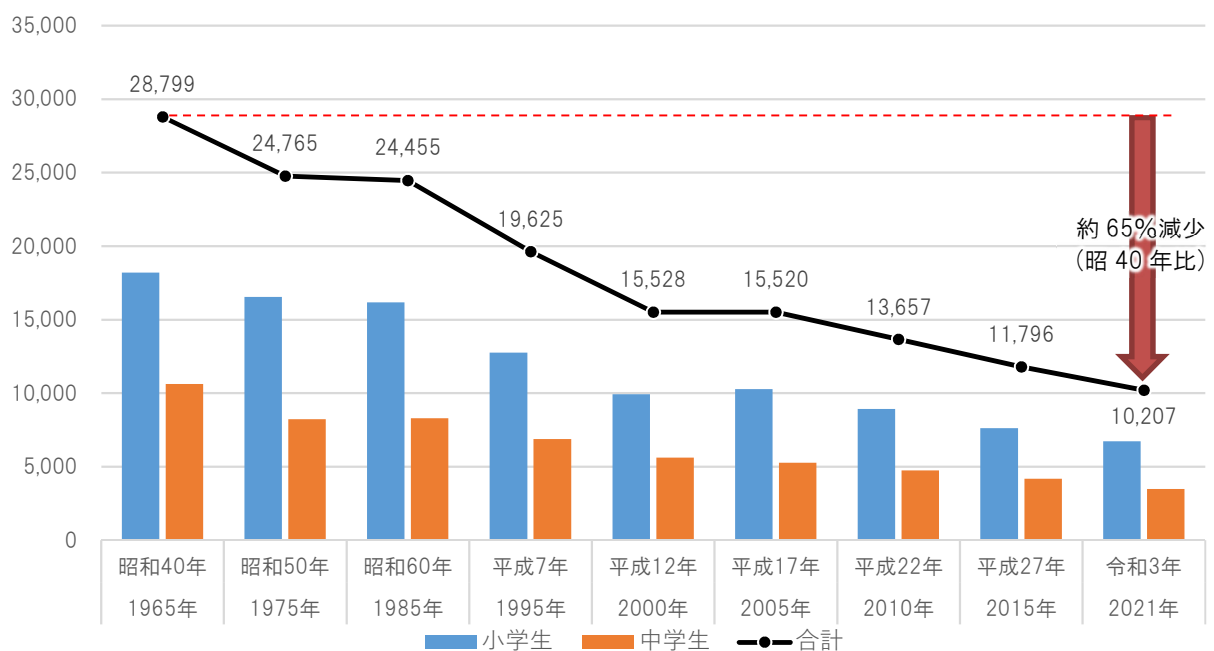
児童生徒数がピークであった昭和40年以降、常に減少しており、令和3年においては昭和40年に比べて約65%減少しており、一部の学校では複式学級を編成しています。

なお、将来推計では今後も減少することが予測されており、令和27年度には令和3年度に比べて約44%減少するという試算もあります。

単位：人

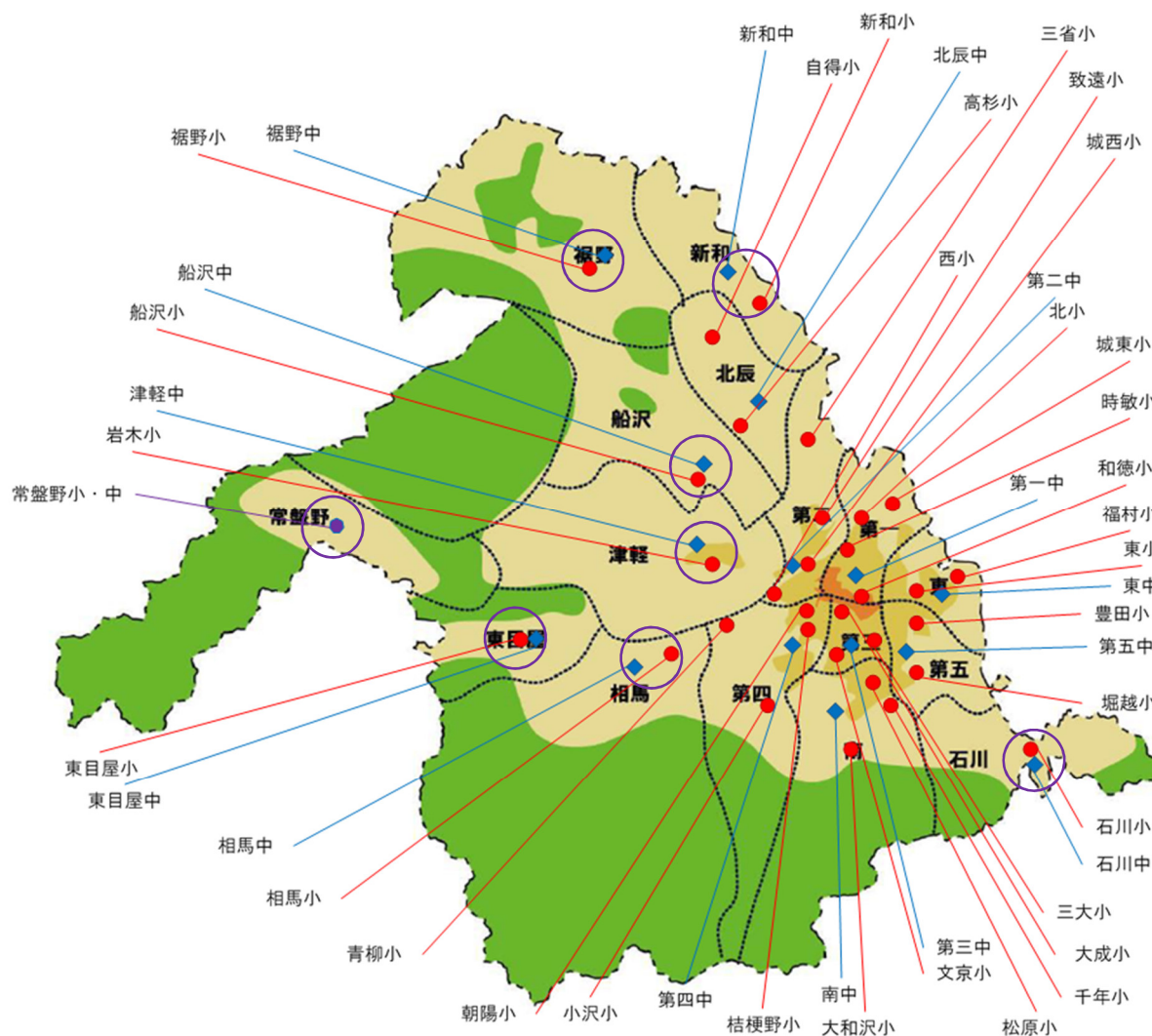
	1965年 昭40	1975年 昭50	1985年 昭60	1995年 平7	2000年 平12	2005年 平17	2010年 平22	2015年 平27	2021年 令3
小学生	18,184	16,538	16,161	12,757	9,915	10,263	8,917	7,611	6,723
中学生	10,615	8,227	8,294	6,868	5,613	5,257	4,740	4,185	3,484
合計	28,799	24,765	24,455	19,625	15,528	15,520	13,657	11,796	10,207

資料：学校基本調査（文部科学省）、弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針



2-3 学校施設の配置状況

16 中学校区に小学校が 32 校設置してありますが、そのうち、裾野、船沢、東目屋、石川、津軽、常盤野、相馬、新和の 8 中学校区では、小学校と中学校が 1 校ずつとなっています。



2-4 施設関連経費の状況

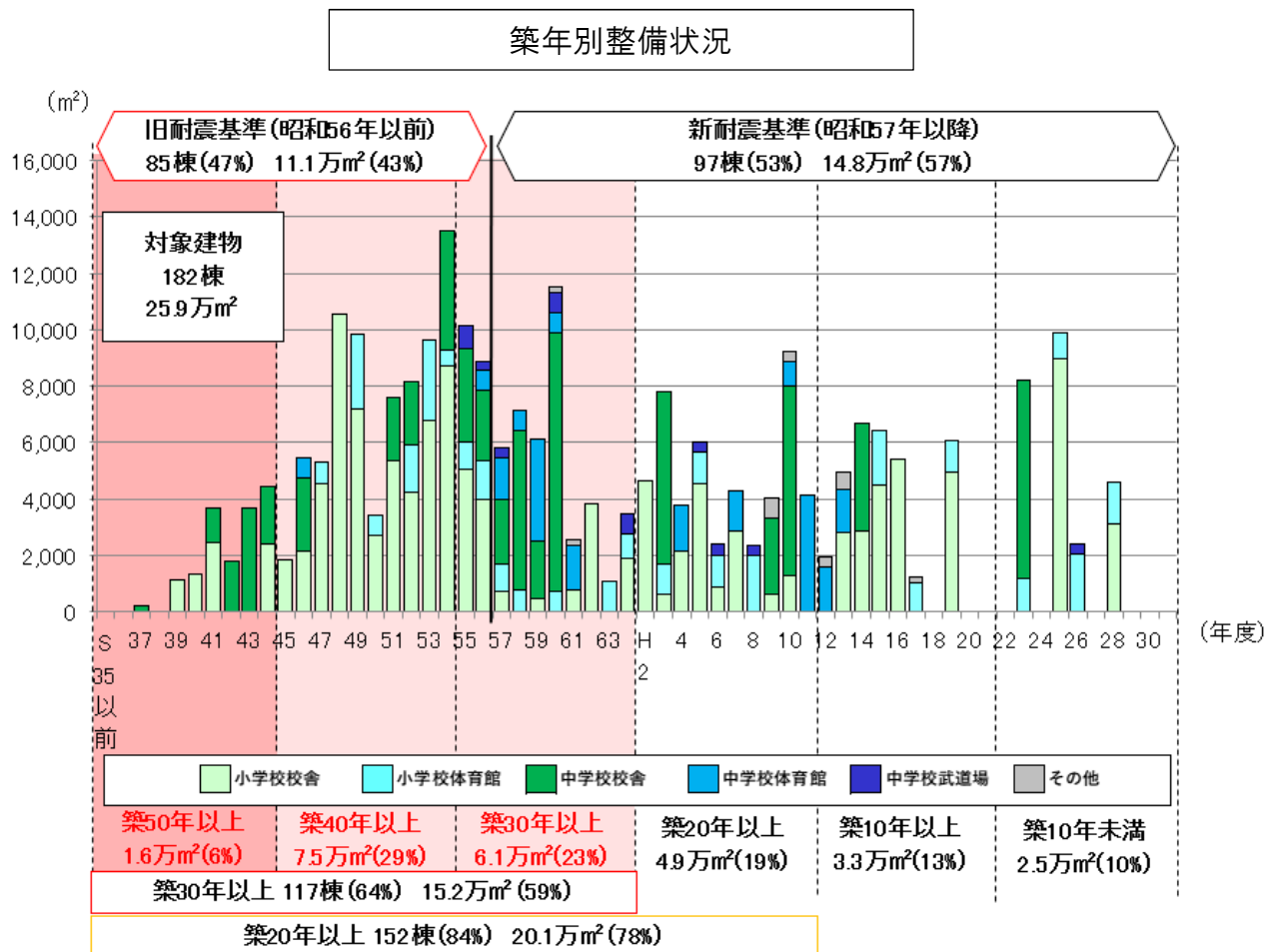
平成26年度から平成30年度までの5年間に於ける小・中学校整備に要した費用の平均額は約10億円となっています。

なお、平成26年度及び平成27年度の整備費には、屋内運動場非構造部材落下防止対策工事及び新築、改築工事に係る整備費用の一部も含まれています。

単位：千円

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	5年間の平均
	平26	平27	平28	平29	平30	
維持管理費 (学校管理費)	110,220	106,002	97,080	95,695	90,265	99,852
投資的経費 (学校建設費)	941,888	2,244,365	257,631	457,973	602,418	900,855
合計	1,052,108	2,350,367	354,711	553,668	692,683	1,000,707

2-5 学校施設の保有量



2-6 学校施設の老朽化状況の実態

対象となる全棟について、建築基準法第12条に基づく調査・点検と合わせて、屋根・屋上、外壁は目視により状況を確認するとともに、内部仕上げ、電気設備、機械設備については経過年数により評価を行い、健全度を点数化しました。


健全度は、各建物の屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

【評価基準】

目視による評価
(屋根・屋上、外壁)

	評価	基準
良好  劣化	A	概ね良好
	B	部分的に劣化
	C	広範囲に劣化
	D	早急に対応する必要あり

経過年数による評価
(内部仕上げ、電気設備、機械設備)

	評価	基準
良好  劣化	A	20年未満
	B	20年～40年
	C	40年以上
	D	経過年数に関わらず劣化事象がある場合

下表のように①部位の評価点と②部位のコスト配分を定め、③健全度を100点満点で算定します。

なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に設定しています。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(次ページの劣化状況調査票における健全度の計算例)

	評価		評価点		配分	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	= 204
2 外壁	B	→	75	×	17.2	= 1,290
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	= 1,680
4 電気設備	B	→	75	×	8.0	= 600
5 機械設備	B	→	75	×	7.3	= 547
計 4,321						
÷ 60						
健全度 72						

【棟毎の劣化状況評価】

 : 築50年以上
 : 築30年以上
 基準 2021

A : 概ね良好
 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化
 D : 早急に対応する必要がある

通し 番号	施設名	建物用途	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	劣化状況評価					健全度 (100点 満点)	備考
							西暦	和暦		屋根 ・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備		
												劣化	劣化	劣化		
1	自得小学校	校舎	4-1,-2,-3	R	3	1,641	1973	S48	48	B	D	C	C	C	34	
2	自得小学校	校舎	5-1	R	2	423	1975	S50	46	C	B	C	C	C	50	
3	自得小学校	体育館	11-1	S	1	558	2016	H28	5	A	A	A	A	A	100	
4	新和小学校	校舎	8-1,11,12,13,14	R	3	2,831	2001	H13	20	A	A	B	B	B	84	
5	新和小学校	体育館	9	S	2	847	2003	H15	18	B	A	A	A	A	98	
6	高杉小学校	校舎	16	R	3	2,066	2013	H25	8	A	A	A	A	A	100	
7	高杉小学校	校舎	17-1	R	3	1,346	2013	H25	8	A	A	A	A	A	100	
8	高杉小学校	体育館	19	S	2	863	2014	H26	7	A	A	A	A	A	100	
9	船沢小学校	校舎	9-1	R	3	2,531	1979	S54	42	A	C	C	C	C	45	
10	船沢小学校	体育館	11-1	S	1	564	1979	S54	42	A	C	C	C	C	45	
11	三省小学校	校舎	1-1	R	2	1,527	1978	S53	43	B	D	C	C	C	34	
12	三省小学校	体育館	2-1	S	1	561	1977	S52	44	A	C	C	C	C	45	
13	三省小学校	校舎	7	R	1	323	1992	H4	29	B	C	B	B	B	65	
14	致遠小学校	校舎	1-1,1-2,2-1,2-2	R	2	2,505	1973	S48	48	A	D	C	C	C	37	2-1はS49
15	致遠小学校	体育館	3-1	S	1	487	1974	S49	47	A	C	C	C	C	45	
16	致遠小学校	校舎	7,8	R	2	1,773	1980	S55	41	C	C	C	C	C	40	
17	致遠小学校	体育館	9-1	S	1	795	1983	S58	38	A	C	C	C	C	45	
18	致遠小学校	校舎	11	R	3	794	1986	S61	35	C	B	B	B	B	72	
19	致遠小学校	校舎	12	R	2	620	1991	H3	30	B	B	B	B	B	75	
20	城東小学校	校舎	13,14	R	3	4,499	2003	H15	18	B	B	A	A	A	91	
21	城東小学校	体育館	15	S	2	1,098	2003	H15	18	B	C	A	A	A	81	
22	福村小学校	校舎	10-1,11-1	R	2	1,326	1980	S55	41	B	B	A	A	A	91	H13長寿命化に関する工事実施、11-1は1階
23	福村小学校	体育館	14	S	1	707	1981	S56	40	B	C	C	C	C	43	H13長寿命化に類する工事実施
24	福村小学校	校舎	20-1	R	3	2,844	2002	H14	19	B	B	A	A	A	91	
25	福村小学校	校舎	23	R	3	441	2013	H25	8	B	B	A	A	A	91	
26	豊田小学校	校舎	3	R	2	842	1969	S44	52	B	C	C	C	C	43	
27	豊田小学校	校舎	6-1,6-2	R	2	1,135	1975	S50	46	B	C	C	C	C	43	
28	豊田小学校	校舎	11	R	2	868	1994	H6	27	B	B	B	B	B	75	
29	豊田小学校	体育館	12	S	2	1,160	1996	H8	25	B	B	B	B	B	75	
30	豊田小学校	校舎	14-1,14-2	R	2	864	1977	S52	44	A	C	C	C	C	45	14-2はS54
31	堀越小学校	校舎	11,12	R	3	4,932	2007	H19	14	B	A	A	A	A	98	
32	堀越小学校	体育館	13	S	2	1,143	2007	H19	14	A	B	A	A	A	93	
33	文京小学校	校舎	23,24-1	R	3	5,138	2013	H25	8	A	A	A	A	A	100	
34	文京小学校	体育館	25	S	2	1,183	2014	H26	7	A	A	A	A	A	100	
35	千年小学校	校舎	12-1,12-2	R	3	2,122	1973	S48	48	A	D	C	C	C	37	12-2はS49
36	千年小学校	校舎	14	R	2	988	1974	S49	47	A	D	C	C	C	37	
37	千年小学校	校舎	18	R	1	288	1975	S50	46	A	C	C	C	C	45	
38	千年小学校	体育館	19	S	1	683	1975	S50	46	A	C	C	C	C	45	
39	大和沢小学校	校舎	9-1	R	2	1,921	1989	H元	32	B	B	B	B	B	75	
40	大和沢小学校	体育館	10	S	2	858	1989	H元	32	C	B	B	B	B	72	
41	小沢小学校	校舎	10-1,-2,-3	R	3	2,575	1976	S51	45	D	C	C	C	C	37	10-3はS54
42	小沢小学校	校舎	11	R	2	295	1976	S51	45	C	C	C	C	C	40	
43	小沢小学校	校舎	13-1	R	2	1,790	1978	S53	43	D	C	C	C	C	37	
44	小沢小学校	体育館	14-1,14-2	S	2	1,080	1978	S53	43	D	D	C	C	C	29	14-2はS58
45	青柳小学校	校舎	9	R	2	1,957	1980	S55	41	C	B	C	C	C	50	
46	青柳小学校	体育館	11	S	1	707	1981	S56	40	C	B	C	C	C	50	
47	東目屋小学校	校舎	7	R	3	1,513	1977	S52	44	A	C	C	C	C	45	
48	東目屋小学校	校舎	10	R	3	1,490	1978	S53	43	B	C	C	C	C	43	
49	東目屋小学校	体育館	11	S	1	569	1978	S53	43	B	B	C	C	C	53	
50	和徳小学校	校舎	1-1,1-2	R	3	1,582	1969	S44	52	A	D	C	C	D	33	1-2はS45
51	和徳小学校	校舎	2-1,2-2	R	3	1,865	1970	S45	51	A	D	C	C	D	33	2-2はS46
52	和徳小学校	校舎	17-1	R	3	1,408	1973	S48	48	A	C	C	C	D	41	
53	和徳小学校	体育館	21	S	2	1,189	2011	H23	10	A	A	A	A	A	100	
54	時敏小学校	校舎	13	R	3	1,855	1977	S52	44	A	C	C	C	D	41	
55	時敏小学校	校舎	15	R	3	1,980	1978	S53	43	A	D	C	C	D	33	
56	時敏小学校	校舎	19	R	2	2,203	1979	S54	42	A	C	C	C	D	41	
57	時敏小学校	体育館	21	S	1	1,195	1978	S53	43	A	B	C	C	C	55	
58	城西小学校	校舎	5-1,5-2	R	2	871	1966	S41	55	B	C	B	B	B	65	H4長寿命化に類する工事実施、5-2はS46
59	城西小学校	校舎	6-1,6-2	R	2	1,216	1966	S41	55	B	C	B	B	B	65	H4長寿命化に類する工事実施、6-2はS43
60	城西小学校	校舎	16	R	1	535	1992	H4	29	B	B	B	B	B	75	
61	城西小学校	校舎	17	R	2	1,315	1992	H4	29	B	B	B	B	B	75	
62	城西小学校	体育館	22-2	S	2	1,105	1993	H5	28	B	C	B	B	B	65	

第2章 学校施設の実態

: 築50年以上
 : 築30年以上
 基準 2021

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報										劣化状況評価						備考
通し番号	施設名	建物用途	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)	
							西暦	和暦								
63	第三大成小学校	校舎	23	R	2	685	1993	H5	28	B	B	B	B	B	75	
64	第三大成小学校	校舎	24-1,24-2	R	3	3,043	1993	H5	28	B	B	B	B	B	75	
65	第三大成小学校	校舎	25-1	R	3	842	1993	H5	28	B	B	B	B	B	75	
66	第三大成小学校	体育館	28	S	2	1,111	1994	H6	27	B	B	B	B	B	75	
67	朝陽小学校	校舎	12	R	3	2,015	1987	S62	34	B	A	B	B	B	82	
68	朝陽小学校	校舎	13	R	3	1,833	1987	S62	34	B	A	B	B	B	82	
69	朝陽小学校	体育館	15	S	2	1,093	1988	S63	33	B	B	B	B	B	75	
70	桔梗野小学校	校舎	5-1,5-2	R	3	1,658	1971	S46	50	A	C	C	C	D	41	5-2はS47
71	桔梗野小学校	体育館	6	S	2	734	1972	S47	49	A	D	C	C	C	37	
72	桔梗野小学校	校舎	8	R	2	219	1972	S47	49	A	C	C	C	D	41	
73	桔梗野小学校	校舎	9-1,9-2	R	3	2,194	1972	S47	49	A	D	C	C	D	33	9-2はS50
74	石川小学校	校舎	1-1,1-2	R	2	1,128	1964	S39	57	C	D	C	C	D	28	1-2はS40
75	石川小学校	校舎	2-1,2-2	R	2	1,357	1965	S40	56	C	C	C	C	D	36	2-2はS41
76	石川小学校	校舎	3	R	2	353	1966	S41	55	C	C	C	C	D	36	
77	石川小学校	校舎	6	R	1	489	1971	S46	50	C	C	C	C	D	36	
78	石川小学校	体育館	19-1	S	2	886	2013	H25	8	A	A	A	A	A	100	
79	西小学校	校舎	1-1,1-2	R	3	2,140	1972	S47	49	A	C	C	C	C	45	
80	西小学校	校舎	4-1,4-2	R	2	1,017	1974	S49	47	A	D	C	C	C	37	
81	西小学校	体育館	5-1	S	2	751	1974	S49	47	A	C	C	C	C	45	
82	西小学校	校舎	7	R	3	666	1979	S54	42	A	C	C	C	C	45	
83	松原小学校	校舎	1,2,3	R	3	3,305	1979	S54	42	B	B	C	C	C	53	2,3は2階
84	松原小学校	体育館	4	S	1	980	1980	S55	41	A	B	C	C	C	55	
85	松原小学校	校舎	9	R	2	708	1982	S57	39	A	B	B	B	B	77	
86	東小学校	校舎	1,2,3-1	R	3	3,967	1981	S56	40	A	B	C	C	C	55	2,3-1は2階
87	東小学校	体育館	5	S	1	982	1982	S57	39	A	B	B	B	B	77	
88	東小学校	校舎	8	R	3	649	1997	H9	24	A	A	B	B	B	84	
89	北小学校	校舎	1,2-1	R	3	4,635	1990	H2	31	B	B	B	B	B	75	
90	北小学校	体育館	3-1	S	2	1,090	1991	H3	30	B	B	B	B	B	75	
91	北小学校	校舎	6	R	3	873	1995	H7	26	B	B	B	B	B	75	
92	大成小学校	校舎	11-1,12	R	3	5,395	2004	H16	17	B	B	A	A	A	91	
93	大成小学校	その他(地域連携)	13-2	S	2	203	2005	H17	16	B	B	A	A	A	91	
94	大成小学校	体育館	14	S	2	1,034	2005	H17	16	B	B	A	A	A	91	
95	裾野小学校	校舎	1-1	R	2	2,891	2016	H28	5	A	A	A	A	A	100	
96	裾野小学校	体育館	2	S	2	903	2016	H28	5	A	A	A	A	A	100	
97	岩木小学校	校舎	1-1,1-2,1-3	R	3	2,871	1973	S48	48	B	D	B	B	B	56	H6長寿命化に類する工事実施、1-2-1はS49
98	岩木小学校	校舎	2	R	2	980	1974	S49	47	B	C	B	B	B	65	H6長寿命化に類する工事実施
99	岩木小学校	校舎	3-1,3-2	R	3	2,808	1974	S49	47	B	D	B	B	B	56	H8長寿命化に類する工事実施
100	岩木小学校	校舎	4	R	1	275	1974	S49	47	C	B	B	B	B	72	H7長寿命化に類する工事実施
101	岩木小学校	体育館	5-1,5-4	S	2	1,408	1974	S49	47	B	B	B	B	B	75	H9長寿命化に類する工事実施、5-4はR造
102	岩木小学校	校舎	6	S	1	236	1974	S49	47	C	B	B	B	B	72	H8長寿命化に類する工事実施
103	常盤野小学校	校舎	14	R	2	1,052	1998	H10	23	B	B	B	B	B	75	
104	常盤野小学校	校舎	15	R	2	258	1998	H10	23	B	B	B	B	B	75	
105	相馬小学校	校舎	1-1	R	2	886	1975	S50	46	B	B	B	B	B	75	H15長寿命化に類する工事
106	相馬小学校	校舎	2	R	2	2,489	1976	S51	45	B	B	B	B	B	75	H15長寿命化に類する工事
107	相馬小学校	体育館	3	S	2	1,153	1977	S52	44	A	C	C	C	C	45	
108	新和中学校	校舎	1-1	R	2	1,444	1980	S55	41	C	C	C	C	C	40	
109	新和中学校	校舎	2	R	2	1,846	1980	S55	41	C	C	C	C	C	40	
110	新和中学校	体育館	4	S	1	708	1981	S56	40	C	C	C	C	C	40	
111	新和中学校	武道場	5	S	1	350	1989	H元	32	C	C	B	B	B	62	
112	船沢中学校	校舎	9-1	R	2	2,021	1984	S59	37	A	B	B	B	B	77	
113	船沢中学校	体育館	10	S	1	747	1985	S60	36	A	C	B	B	B	67	
114	船沢中学校	その他(地域連携)	11	S	1	205	1985	S60	36	B	C	B	B	B	65	
115	船沢中学校	武道場	12	S	1	352	1985	S60	36	A	C	B	B	B	67	
116	東目屋中学校	校舎	5	W	1	228	1962	S37	59	C	D	C	C	C	31	倉庫として使用
117	東目屋中学校	校舎	8-1	R	3	2,289	1982	S57	39	A	C	B	B	B	67	
118	東目屋中学校	体育館	10	S	1	712	1983	S58	38	A	C	B	B	B	67	
119	東目屋中学校	武道場	11	S	1	350	1993	H5	28	A	B	B	B	B	77	
120	第一中学校	校舎	15-1,15-2	R	3	2,226	1977	S52	44	C	C	C	D	C	36	
121	第一中学校	校舎	18	R	3	313	1979	S54	42	C	C	C	C	C	40	
122	第一中学校	校舎	19	R	3	2,863	1979	S54	42	C	C	C	C	C	40	
123	第一中学校	校舎	22	R	2	1,061	1979	S54	42	C	C	C	C	D	36	
124	第一中学校	武道場	23	S	1	350	1980	S55	41	D	C	C	C	C	37	
125	第一中学校	校舎	28	R	3	2,164	1985	S60	36	C	B	B	B	B	72	
126	第一中学校	体育館	29-1	S	2	1,544	1986	S61	35	B	C	B	B	B	65	
127	第一中学校	その他(地域連携)	29-2	S	2	210	1986	S61	35	B	C	B	B	B	65	
128	第一中学校	その他(部室)	33	S	1	365	1997	H9	24	B	C	B	B	B	65	

: 築50年以上
 : 築30年以上
 基準 2021

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

通し番号	施設名	建物用途	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	劣化状況評価						健全度 (100点満点)	備考
							西暦	和暦		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備			
129	第二中学校	校舎	1	R	3	2,019	1969	S44	52	D	C	C	C	C	37		
130	第二中学校	校舎	3-1,3-2	R	3	2,431	1968	S43	53	D	C	C	C	C	37	3-2はS45	
131	第二中学校	校舎	10-1,10-2	R	3	1,224	1976	S51	45	D	D	C	C	C	29	10-2はS53	
132	第二中学校	校舎	11	R	1	332	1976	S51	45	C	C	C	C	C	40		
133	第二中学校	武道場	20	S	1	450	1994	H6	27	B	B	B	B	B	75		
134	第二中学校	その他(部室)	21	S	1	365	1997	H9	24	B	C	B	B	B	65		
135	第二中学校	体育館	22-1	S	2	1,524	2001	H13	20	B	B	B	B	B	75		
136	第二中学校	その他(地域連携)	22-2	S	2	251	2001	H13	20	B	B	B	B	B	75		
137	第三中学校	校舎	30-1	R	3	2,672	1997	H9	24	B	C	B	B	B	65		
138	第三中学校	校舎	31-1,32	R	3	4,800	1998	H10	23	B	B	B	B	B	75		
139	第三中学校	体育館	37-1,-2,-3	S	2	2,268	1999	H11	22	B	B	B	B	B	75	37-2は地域、-3は武道	
140	第三中学校	その他(部室)	38	S	1	365	2000	H12	21	B	B	B	B	B	75		
141	第四中学校	武道場	19	S	1	351	1981	S56	40	C	B	C	C	C	50		
142	第四中学校	体育館	21-1	S	2	1,420	1995	H7	26	B	C	B	B	B	65		
143	第四中学校	校舎	24-1	R	4	7,020	2011	H23	10	A	A	A	A	A	100		
144	第五中学校	校舎	1-1,1-2	R	3	1,802	1967	S42	54	C	D	C	C	C	31	1-2はS43	
145	第五中学校	校舎	3-1,3-2	R	3	1,266	1968	S43	53	C	D	C	C	D	28	3-1はS46	
146	第五中学校	武道場	7	S	1	350	1982	S57	39	C	C	B	B	B	62		
147	第五中学校	校舎	8	R	3	1,070	1985	S60	36	C	C	B	B	B	62		
148	第五中学校	体育館	10-2,10-3	R	2	1,568	2000	H12	21	C	B	B	B	B	72	10-3は地域	
149	第五中学校	その他(部室)	11	S	1	327	2001	H13	20	A	B	B	B	B	77		
150	石川中学校	校舎	4	R	2	1,224	1966	S41	55	C	D	C	C	C	31		
151	石川中学校	校舎	12-1	R	2	381	1976	S51	45	C	C	C	C	C	40		
152	石川中学校	校舎	15	S	1	285	1976	S51	45	C	B	C	C	C	50		
153	石川中学校	体育館	18	S	1	740	1982	S57	39	C	C	B	B	B	62		
154	石川中学校	武道場	19	S	1	350	1985	S60	36	C	C	B	B	B	62		
155	石川中学校	校舎	20-1	R	2	893	1991	H3	30	B	B	B	B	B	75		
156	北辰中学校	校舎	1	R	2	1,009	1971	S46	50	D	D	C	D	C	25		
157	北辰中学校	校舎	2-1,2-2	R	3	1,615	1971	S46	50	C	D	C	D	C	27	2-2はS45	
158	北辰中学校	体育館	4-1	S	2	697	1971	S46	50	B	C	C	C	C	43		
159	北辰中学校	武道場	7	S	1	350	1989	H元	32	B	B	B	B	B	75		
160	裾野中学校	校舎	1	R	3	2,463	1981	S56	40	C	C	C	C	C	40		
161	裾野中学校	体育館	4	S	1	735	1982	S57	39	C	C	B	B	B	62		
162	裾野中学校	武道場	5-1	S	2	350	1996	H8	25	B	B	B	B	B	75		
163	南中学校	校舎	1-1	R	3	3,222	1983	S58	38	B	B	B	B	B	75		
164	南中学校	校舎	2,3	R	3	2,432	1983	S58	38	B	B	B	B	B	75		
165	南中学校	体育館	4,5,6	S	1	1,873	1984	S59	37	A	C	B	B	B	67	5は地域、6は武道	
166	南中学校	その他(部室)	10	S	1	365	1998	H10	23	B	C	B	B	B	65		
167	東中学校	校舎	1-1,2	R	3	5,194	1991	H3	30	B	B	B	B	B	75	2は2階	
168	東中学校	体育館	3-1,3-3	S	2	1,631	1992	H4	29	A	B	B	B	B	77	3-3は1階、武道	
169	津軽中学校	武道場	23	S	1	470	1980	S55	41	C	B	C	C	C	50		
170	津軽中学校	体育館	24	S	2	1,731	1984	S59	37	C	C	B	B	B	62		
171	津軽中学校	校舎	25-1,26,27	R	3	5,924	1985	S60	36	C	B	B	B	B	72	27は2階	
172	常盤野中学校	校舎	8,9-1	R	2	1,877	1998	H10	23	B	B	B	B	B	75	9-1は1階	
173	常盤野中学校	体育館	9-2	S	2	901	1998	H10	23	C	B	B	B	B	72		
174	相馬中学校	体育館	18-1,18-2	S	1	1,848	1999	H11	22	B	B	B	B	B	75	18-2は2階、クラブハウス	
175	相馬中学校	校舎	19-1,19-2	R	3	3,839	2002	H14	19	B	B	A	A	A	91	19-2は1階、地域	
176	相馬中学校	武道場	22	S	1	352	2014	H26	7	A	A	A	A	A	100		

※建物基本情報及び劣化状況評価は、令和3年5月1日時点

※建築基準法第12条に基づく調査・点検は令和元年度に実施

【D評価への対応】

特に劣化が確認されたり、早急に対応する必要があると評価されたりした部位においては、可能な限り優先的に対応することとします。

また、危険性の高い箇所については、個別に対応することとします。

【健全度の分布】

単位：棟

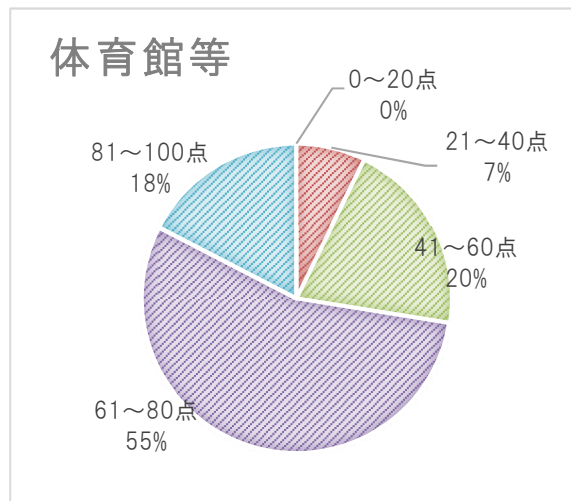
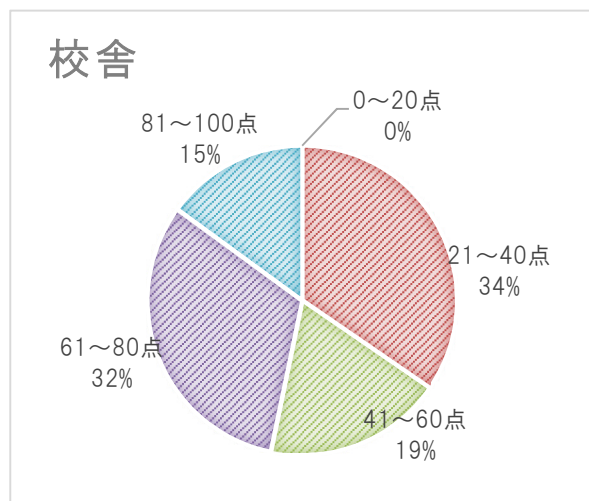
校種	健全度 建物	0～20点	21～40点	41～60点	61～80点	81～100点
		小学校	校舎	0	19	19
	体育館	0	3	11	8	10
	その他	0	0	0	0	1
	計	0	22	30	30	25
中学校	校舎	0	18	1	12	2
	体育館	0	2	3	22	1
	武道場	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	8	0
	計	0	20	4	42	3
合計		0 (0.0%)	42 (23.9%)	34 (19.3%)	72 (40.9%)	28 (15.9%)

(参考) 健全度のとらえ方の目安

健全度	状態の目安
81～100点	概ね良好
61～80点	部分的に劣化
41～60点	広範囲に劣化（安全上、機能上問題なし）
21～40点	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
0～20点	早急に対応する必要あり

健全度についてその分布を見ると、0～20点はないものの21～40点以下が42棟あり、全176棟に占める割合は23.9%となっています。

また、円グラフで示したとおり、校舎と体育館等（体育館、武道場、その他）の健全度の割合では、校舎における40点以下の割合が高くなっています。



第3章 基本的な考え方

3-1 施設整備の優先順位の考え方

「弘前市教育振興基本計画」では、弘前市が目指す教育の施策の一部として、「安全・安心な学びの環境の整備」「時代に対応する教育の推進」を掲げています。

これらの施策の中で、学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害発生時には、地域住民の避難場所としての役割も担うことから、良好な教育環境の整備に努めることとしています。

また、「小・中学校施設整備指針（文部科学省）」においては、平成31年3月改訂時に、ICTを活用できる環境の整備や、施設の機能向上、地域との連携・協働の促進等の記述が追記・修正され、これらは重点的に取り組む事項として示されています。

そして、「弘前市公共施設等総合管理計画」では、公共建築物の取り組み方針として「「学校」を地域コミュニティの核としたまちづくりの実践」を掲げており、学校近隣にある公共施設の機能集約の検討や、改築等の際に施設複合化の検討も求められます。

これらの今後の学校施設に求められる整備をするにあたっては、すべての施設に対して適切な時期に対応することが望まれますが、施設の老朽化や人口構造の変化等により厳しさが増す財政状況においては、すべての整備を行っていくことは困難であることから、一定の基準に基づき、優先すべき施設や対策内容を決定する必要があります。

そこで、本市においては、以下の考え方に基づき、総合的に施設整備の優先順位を判断します。

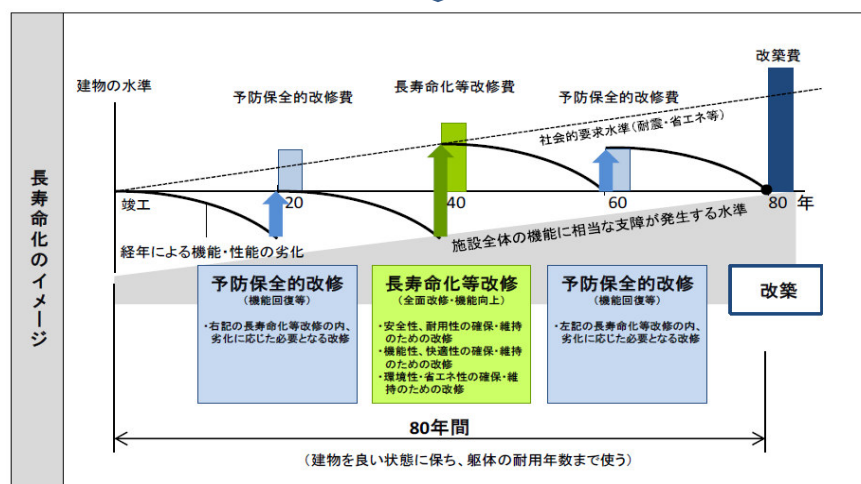
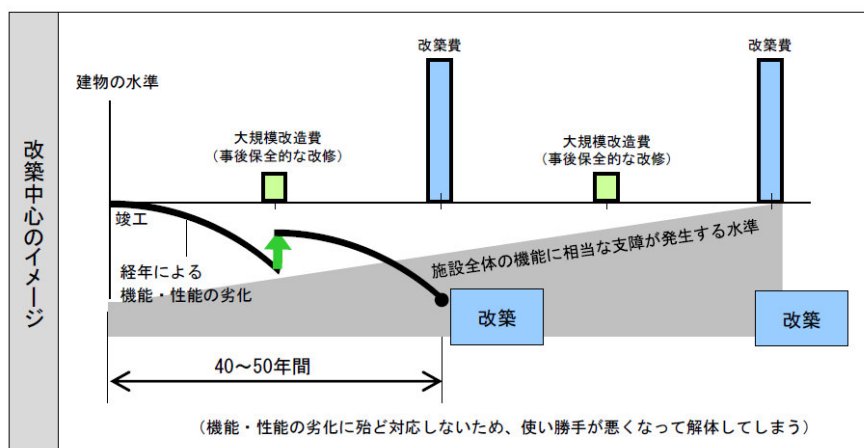
基準項目	基準内容
施設の築年数	建築年度が古い施設は優先的に対策を実施します。
劣化状況評価に基づく施設の健全度	健全度の点数が低い施設は優先的に対策を実施します。 ※健全度についてはP9-11に記載。
施設の過去の改修履歴	過去に実施した大規模改修等の時期や内容を勘案し対策を実施します。

3-2 施設整備の方向性

鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は、47年となっていますが、物理的な耐用年数はこれより長く、可能な限りの利用を目標として、目標使用年数は80年と設定します。

目標使用年数まで使用するため、築20年経過後に原状回復のための改修を行い、目標使用年数の中間期に長寿命化改修を実施、その後改築までの期間に再度原状回復のための改修を行うこととします。(下図：長寿命化のイメージ)

改築	老朽化により構造上危険な状態にある建物や、教育を行うのに著しく不適当な状態にある建物について、既存施設と同じ場所もしくは別の場所に建て替えること。
長寿命化改修	老朽化した建物について、物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を求められる水準まで引き上げる施設全体の改修を行うこと。
予防保全的改修	将来の長寿命化改修を見据え、建物を健全な状態に保つための予防的な改修を行うこと。(⇔事後保全的な改修)



3-3 施設整備の水準

【老朽化に係る整備項目】

① 構造躯体（鉄筋コンクリート）の劣化対策

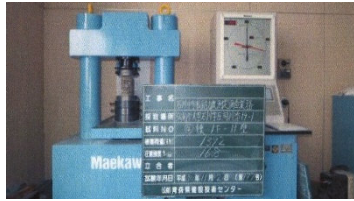


ア 劣化状況の把握（耐力度調査、現地調査）

- ・改築を行う際には、耐力度調査を実施します。
- ・長寿命化改修を行う際には、耐力度調査に準じた調査を実施します。
 なお、耐震診断を実施している建物は、新たな調査を行わず耐震診断時のデータを用いて評価します。

※構造耐力上、主要な部分のコンクリート強度が低い場合（13.5N/mm²以下）や、多くの部分で鉄筋が腐食している場合は、基本的に改修には適さず、対策に多額の費用がかかるため、これらの建築物については、長寿命化改修ではなく改築を行うこととします。

イ 劣化の種類・原因・程度に応じた適切な補修

- ・ひび割れ対策
 ⇒エポキシ樹脂の注入、表面全体を樹脂製塗膜で被覆
- ・中性化対策
 ⇒樹脂製塗膜やタイル仕上げなどの防水対策
 ⇒中性化抑制剤やアルカリ性付与剤の塗布

コンクリート圧縮試験	中性化深さ	ひび割れ補修
		
<p>校舎等から採取した円柱状のコンクリート試験体の上下端面に圧縮力を加えてどこまで耐えられるかを計測。</p>	<p>フェノールフタレイン溶液を吹きかけ、着色しない部分（中性化）の深さを計測。</p>	<p>注入器具を用いてひび割れ部に注入材を充てん。</p>

※左、中央：耐力度測定調査（弘前市）、右：学校施設の長寿命化改修に関する事例集 より




② 外壁・屋上の老朽化対策

ア 外壁の劣化対策

外壁が劣化すると、一部が欠けて落下する恐れや構造躯体の耐久性に影響を及ぼすことがあるため、劣化の程度に応じた適切な対策を取る必要があります。

イ 屋上の防水改修

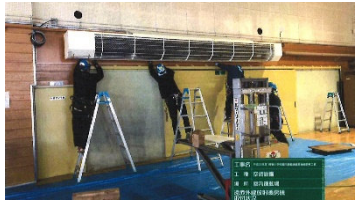
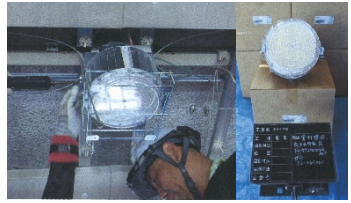
躯体や建物内部への漏水を防ぎ、建物の劣化を抑えるためには防水対策は重要であるため、全面的な防水改修を行います。

表面処理改修	陸屋根の改修例	勾配屋根の改修例
		
<p>表面含浸工法では、表面含浸材をコンクリートに含浸させることで劣化の進行抑制や耐久性向上が図られる。</p>	<p>既存の防水層を残したかぶせ工法による屋上防水の施工例。工期の短縮が可能となる。</p>	<p>既存の屋根材を残したカバー工法による屋根改修の施工例。定期的に塗り直しすることが望ましい。</p>

※左、中央：学校施設の長寿命化改修の手引き（文部科学省）より、右：屋根改修工事（弘前市）

③ 設備機器の老朽化対策

設備機器の老朽化対策には、日常的な目視点検や消耗部品の定期交換によって、故障を未然に防止する対策も必要ですが、長寿命化改修時の設備機器は、物理的な耐用年数を経過している場合が多いため、更新を基本とします。

暖房機器の更新	照明器具の更新
	
<p>体育館の暖房機器について、温風暖房機から、遠赤外線輻射式暖房機へ更新。燃料消費量を削減できる。</p>	<p>体育館の照明器具についてLED化することで、必要な照度を確保するとともに電力消費量を削減できる。</p>

※左：暖房機器更新工事（弘前市）、右：体育館照明器具交換工事（弘前市）

【機能向上に係る整備項目】

① 児童生徒の主体的な学習活動の支援

児童生徒の主体的な活動を支援する工夫や、児童生徒の持つ豊かな創造性を発揮できる空間として計画します。

また、自主的な学習機会の充実等のために、図書室、自習室等の機能を充実させます。


多目的スペースの整備例

<p>多目的スペースを校舎中央に配置することで、発表や討論などの教育活動に活用することができる。</p>

※学校施設の長寿命化改修の手引き より

② 教育の情報化の推進

G I G Aスクール構想に対応した施設となるよう、校内通信ネットワークや端末の整備を進めます。

I C T 機器の整備

<p>高速通信ネットワークの整備やタブレット端末の整備による、公正に個別最適化された学びの持続的な実現。</p>

※小学校での公開授業（弘前市）

③ 断熱性能の向上

屋上、外壁、開口部等の断熱化
採光による温熱環境の改善
複層ガラス

- ④ 省エネルギー化の推進
節電効果の高い電気機器、節水型便器等への更新
- ⑤ バリアフリー化の推進
段差解消、適切なスロープ、滑りにくい床面仕上げ
多目的トイレの設置
- ⑥ 快適性の向上
トイレ改修（湿式から乾式、洋式化）や水まわりの改善
普通教室への空調整備
- ⑦ 学校と地域が交流しやすいスペースや地域が活動しやすいスペースの整備
- ⑧ 内装の木質化
県産材等の資源の有効活用

複層ガラス	トイレ改修	冷房設備の設置
		
<p>断熱効果が高いため、冷暖房の効率を上げることができる。</p>	<p>便器の洋式化と床の乾式化を図ることで、清潔な状態を保つことが期待できる。</p>	<p>普通教室へ整備することで、熱中症対策のほかに、授業に集中できるなどの効果も期待できる。</p>

※左：エコスクールパンフレット（文部科学省）より、中央：トイレ改修工事（弘前市）、右：空調設備設置工事（弘前市）

【避難所機能に係る整備項目】

- ① 災害時でも給水設備や照明等が利用できるよう非常用発電設備等によるシステムの整備を検討します。
- ② 災害時にボランティアなどの活動拠点となるスペース及び災害備蓄を保管するスペースの整備を検討します。

第4章 長寿命化の実施計画

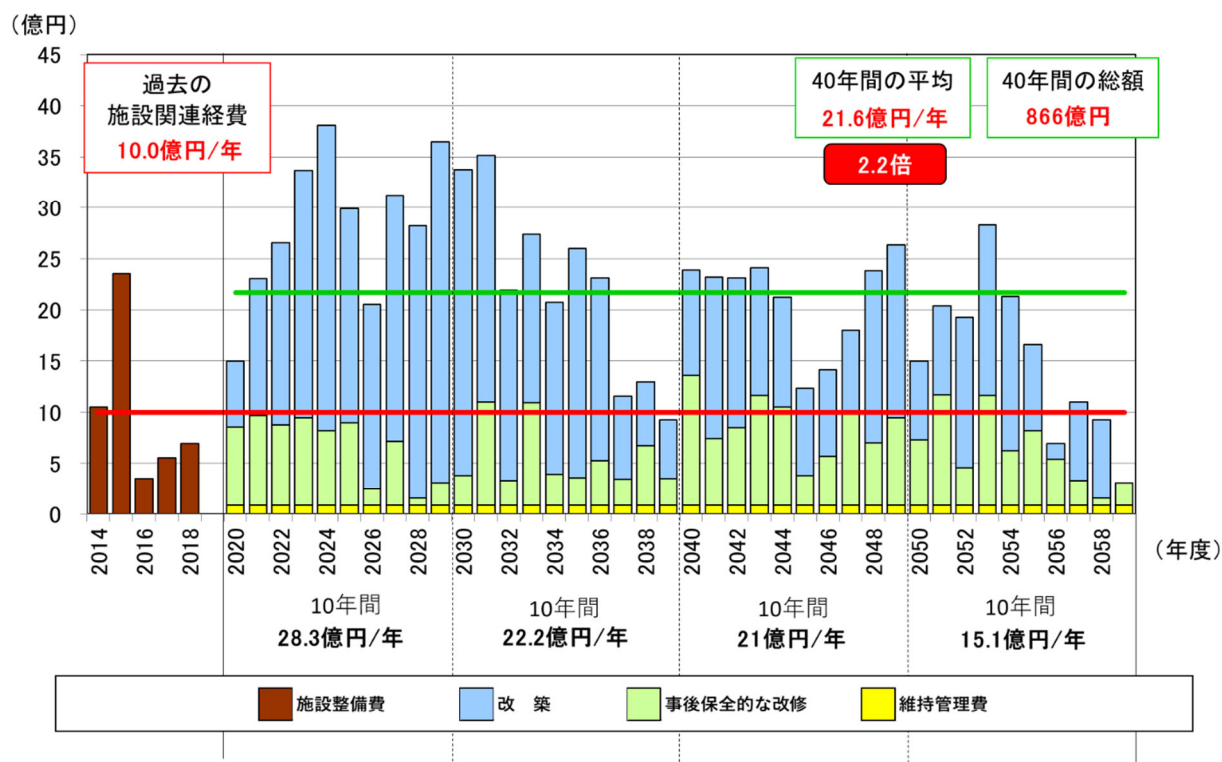
4-1 維持・更新コストシミュレーション

今後の維持・更新コストを、改築のみ（従来型）によるシミュレーションと、長寿命化改修も取り入れた場合（長寿命化型）で比較することとします。

【従来型によるコスト試算】

従来型に関するコスト算出条件は以下のとおりとします。

- 試算期間：2020年から2059年までの40年間
- 改築の周期：50年
- 改築の工期：2年（2020年時点ですでに50年を経過している建物は、2020年から10年間に整備費用を均等にする。）
- 改築単価：校舎 253,000 円/m²、体育館 330,000 円/m²（市の実績ベース）
- 事後保全的な改修の周期：20年
- 事後保全的な改修の工期：1年
- 改修単価：改築の25%



⇒改築による整備を行った場合、今後40年間の総額は866億円、平均すると過去5年間の整備費用の約2.2倍にあたる21.6億円/年となることが分かります。

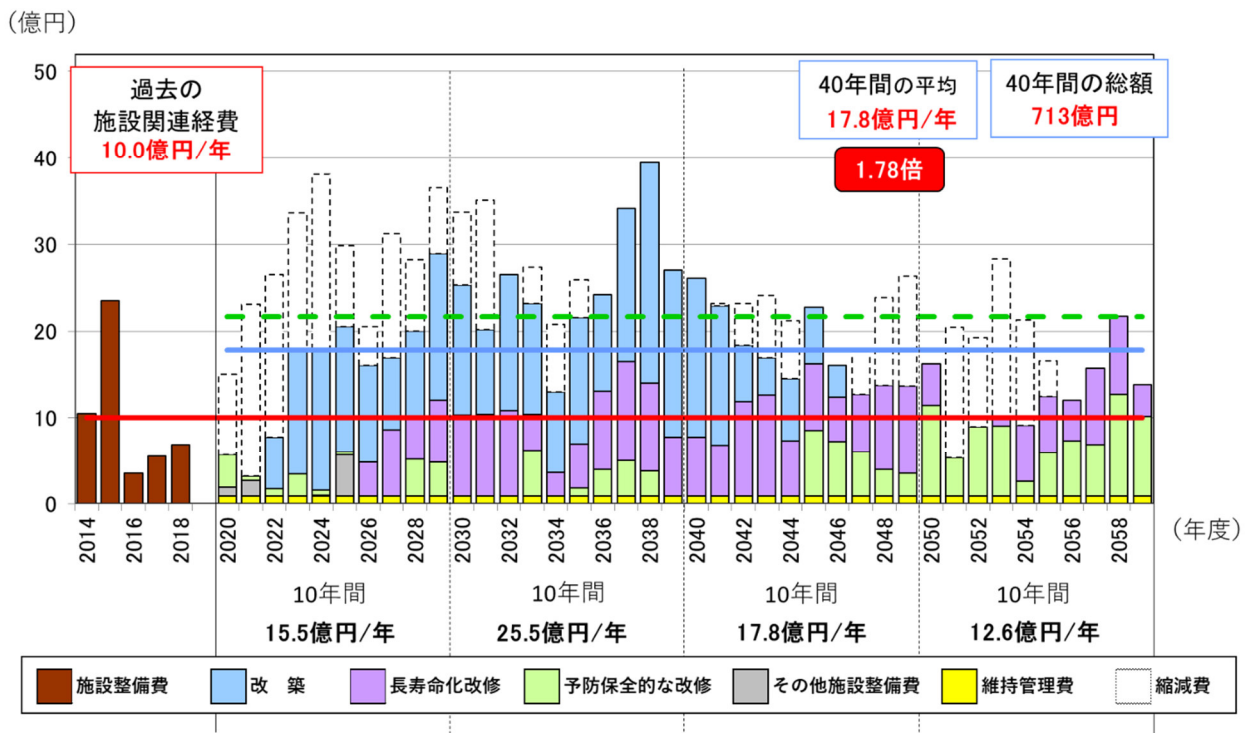
⇒2020年時点ですでに50年を経過した建物が多く存在することもあり、2030年頃までの整備費用が多くなっています。

【長寿命化型によるコスト試算】

- 試算期間：2020年から2059年までの40年間
- 改築の周期：概ね築40年で長寿命化改修を行う建物⇒80年（工期2年）：上記以外の長寿命化改修を行わない建物⇒50年
- 改築単価：校舎 253,000円/㎡、体育館 330,000円/㎡（市の実績ベース）
- 長寿命化改修の周期・単価：40年（工期2年）・改築の60%
- 予防保全的な改修の周期・単価：20年（工期1年）・改築の25%

＜その他コスト試算の条件＞

- ・国庫補助による改修実績がある建物の改築は、改修から10年経過以降とします。
- ・国庫補助による改修実績がある建物の長寿命化改修は、可能な限り改修から10年経過以降としますが、整備費用の平準化の観点等から、少なくとも5年を経過していることとします。



⇒改築のみ（従来型）によるシミュレーションに比べて整備費用を縮減することができる試算となります。

⇒年度ごとの整備件数が可能な限り平準化するよう配慮したことにより、築60年を超えるまで整備が先延ばしになる施設も出現します。

4-2 施設整備の基本的な方針

維持・更新コストに関するシミュレーションの結果、長寿命化改修を取り入れるとともに平準化を図ることで、改築のみによるシミュレーションに比べ整備費用を縮減できることがわかりました。

これを踏まえ、施設維持に係る対策の優先順位としては、まず、「長寿命化改修」を検討し、長寿命化改修に適さない施設については、「改築」を検討します。

そして、築年数が短い施設については築20年を目安に「予防保全的改修」を実施し、その後の長寿命化改修を見据えます。

しかしながら、これらによるコストを圧縮してもなお、過大な財政負担が見込まれることから、「集約化」の検討も踏まえることとし、これらの考え方について次のように設定します。

【長寿命化改修】

- ・ 築40年を目安に可能な限り長寿命化改修を行います。
- ・ 長寿命化改修に先行してトイレ改修など国庫補助による改修実績がある場合、改修時期は可能な限り改修から10年経過以降としますが、整備の平準化の観点等から、少なくとも5年を経過していることとします。なお、改修済みの箇所は継続した利用ができる場合は、可能な限り長寿命化改修の範囲から除外するよう配慮します。

【改築】

- ・ 築50年以上を経過した建物については、耐力度調査を実施のうえ、改築することとします。
- ・ トイレ改修など国庫補助による改修実績がある学校については、国庫納付が発生しない整備後10年以降に改築します。

【予防保全的改修】

- ・ 築20年（長寿命化改修後20年も含む）を目安に予防保全的改修を行います。
- ・ 工事を実施する際は複数の改修項目を合わせて行うことで、工事の効率化・コストの軽減等を図ります。
- ・ 実施内容は次の項目を基本とします。ただし、既に改修済みの箇所は継続した利用ができる場合は、除外するものとします。

- ① 屋根及び外壁の改修
- ② 受電設備の更新
- ③ 受水槽の更新
- ④ 消防設備等の更新
- ⑤ 空調（冷房）設備の更新
- ⑥ 昇降機（給食昇降機を含む）の更新

<築年別による改築・長寿命化改修時期のイメージ>

2019年時点の築年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
築50年以上	改築 (築後50年～60年)					予防保全的改修 (築後20年)		
築40年～49年			改築 (築後50年～60年)				予防保全的改修 (築後20年)	
築30年～39年	長寿命化改修 (築後40年程度)					予防保全的改修 (築後60年)		
築20年～29年			長寿命化改修 (築後40年程度)				予防保全的改修 (築後60年)	
築20年未満	予防保全的改修 (築後20年)					長寿命化改修 (築後40年程度)		

【その他の改修】

- ・校舎及び体育館の照明器具については、施設を目標使用年数まで使うために、水銀灯を使用した照明器具を計画的にLED照明へ更新を進めます。
なお、すでにLED照明が設置されている場合は、予防保全的改修に併せて更新します。
- ・体育館の暖房機器が温風暖房機の場合は、1校/年ずつ遠赤外線輻射式暖房機への更新を進めます。
なお、すでに遠赤外線輻射式暖房機が設置されている場合は、原則、体育館の改修に合わせて更新します。
- ・グラウンドについては、校舎等の改築に伴い、校地内のレイアウトが変更になる場合を除いて、大規模な改修は原則行わないこととします。
ただし、不陸が著しい場合や周辺への砂ぼこりの飛散等維持保全への影響が大きい場合は、表土の改修により対応します。

【学校統合及び施設の集約化】

- ・「弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針」を踏まえるとともに、将来の人口推計等も勘案しながら、統合や学区再編を見据えた整備を検討します。
- ・小学校と中学校が1校ずつの学区にあっては、小・中学校施設一体型校舎の整備を検討します。
- ・地区内にある公民館等の公共施設との複合化を行うにあたっては、学校施設が地域コミュニティの核となり、また、シンボリックな存在となるような整備内容を検討します。

なお、これらの整備を実施するにあたっては、国庫補助等の有利な財源を活用できるように計画的に取り組めます。

また、現在、各整備手法を実施する際に、活用を想定している財源は次のとおりです。

<活用を想定している国庫補助メニューと補助率>

整備手法	国庫補助メニュー	補助率
長寿命化改修	長寿命化改良事業	1/3
改築	改築事業	1/3
予防保全的改修	長寿命化改良事業	1/3
体育館暖房更新	大規模改造事業（空調）	1/3
照明器具LED化	大規模改造事業（教育内容）	1/3

※国庫補助事業の概要については、参考資料として巻末に添付

4-3 今後5年間の実施計画

今後5年間に実施を計画している大規模な整備については次のとおりです。
 ただし、国庫補助の採択状況や財政状況等によって変更が生じる場合があります。
 なお、このほか、計画的に行う小額の維持修繕や突発的に起こる設備等の不具合
 に対応するための費用として、全小中学校分で90,000千円/年を想定しています。
 さらに、令和4年度に建築基準法第12条に基づく調査・点検を予定しています。

(単位：千円)

学 校 名	建 物 名	建 設 年 度	築 年 数	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	改修履歴	備考(今後5年間の実施内容)
石川小学校	校舎	1964	57	実施設計 90,978	改築(校) I期 323,345	改築(校) II期 808,148	改築(校) III期 484,589	グラウンド整備工事 170,720	耐震補強(H23)、非構造部材 (H26)	石川小学校(4477.07㎡)・石川中 学 校(4341.56㎡)・石川公民館 (865.37㎡)・石川出張所(97.94 ㎡)・石川児童館(187.97㎡)・大沢 児童館(187.15㎡)・業師堂児童館 (185.49㎡)を複合化した施設を整備 します。 延べ面積：10,342.55㎡→7,267.5㎡
	体育館	2013	8							
石川中学校	校舎	1966	55	実施設計 84,996	改築(校・屋) I期 260,475	改築(校・屋) II期 651,014	改築(校・屋) III期 390,368	屋外倉庫新築工事 34,456	耐震補強(H23)、非構造部材 (H26)	
	体育館	1982	39							
第二中学校	校舎	1968	53				改築(校) I期 455,855	改築(校) II期 1,063,663	大改教育(H5)、耐震補強 (H23)、非構造部材(H26)	改築を行います。
	体育館	2001	20							
桔梗野小学校	校舎	1971	50					改築(校・屋) I期 381,655	耐震補強(H23)、屋根改修 (H24)、非構造部材(H26)	改築を行います。
	体育館	1972	49							
東小学校	校舎	1981	40	体育館暖房更新 30,892					耐震補強(H24)、非構造部材 (H26)、屋根改修(H26)、大改ト イレ(R1)	体育館の暖房機器の更新を行います。
	体育館	1982	39							
西小学校	校舎	1972	49	体育館暖房更新 25,179					耐震補強(H23)、屋根改修 (H24)、非構造部材(H26)、大改 トイレ(H30)	体育館の暖房機器の更新を行います。
	体育館	1974	47							
朝陽小学校	校舎	1987	34			体育館暖房更新 36,457			非構造部材(H26)、大改トイレ (R2)	体育館の暖房機器の更新を行います。
	体育館	1988	33							
常盤野中学校	校舎	1998	23			体育館暖房更新 30,138			防災機能強化(H27)、大改空調 (R1)	体育館の暖房機器の更新を行います。
	体育館	1998	23							
三省小学校	校舎	1978	43				体育館暖房更新 19,716		耐震補強(H24)、屋根改修 (H24)、大改トイレ(R2)	体育館の暖房機器の更新を行います。
	体育館	1977	44							
自得小学校	校舎	1973	48		屋根改修 12,580				大改法令(H18)、大改トイレ (R1)、大改空調(R1,R2)	屋根の改修を行います。
	体育館	2016	5							
新和中学校	校舎	1980	41		屋根改修 74,715				大改教育(H5)、大改法令(H17) 地震補強(H23)、防災機能強化 (H26)、大改トイレ(R1)、大改 空調(R1,R2)	屋根の改修を行います。
	体育館	1981	40							
小沢小学校	校舎	1976	45			屋根改修 49,827			耐震補強(H24)、非構造部材 (H26)、大改トイレ(H29)、大改 空調(H29)	屋根の改修を行います。
	体育館	1978	43							
津軽中学校	校舎	1985	36			屋根改修 141,406			大改教育(H5)、耐震補強(H23) 、非構造部材(H26)、大改空調 (H30)、大改トイレ(R2)	屋根の改修を行います。
	体育館	1984	37							
掘野中学校	校舎	1981	40				屋根改修 25,313		大改教育(H6)、大改法令(H18) 、防災機能強化(H26)、大改空 調(R1,R2)、大改トイレ(R2)	屋根の改修を行います。
	体育館	1982	39							
福村小学校	校舎	1980	41				屋根改修 19,295		大改教育(H13)、地震補強 (H23)、大改空調(R1,R2)、大改 トイレ(R2)	屋根の改修を行います。
	体育館	1981	40							
城西小学校	校舎	1966	55					屋根改修 39,168	地震補強(H22)、防災機能強化 (H27)、大改空調(R1,R2)、大改 トイレ(R2)	屋根の改修を行います。
	体育館	1993	28							
				維持管理費 90,000	維持管理費 90,000	維持管理費 90,000	維持管理費 90,000	維持管理費 90,000		
合計				322,045	776,544	1,806,990	1,790,043	2,052,834		

第5章 個別施設計画の継続的運用方針

5-1 推進体制等の整備

学校施設個別施設計画を継続的に運用していくために、教育委員会学校施設担当課を中心に、市長部局の公共施設マネジメント担当と連携して取り組んでいくこととします。

また、学校施設の維持管理については、学校現場における日常点検や業務委託による各種点検報告書の結果を活用して、不具合箇所の早期把握と修繕対応を図っていくこととします。

5-2 フォローアップ

学校施設個別施設計画は、学校施設の改修や改築の優先順位を設定するものです。今後は個別の年次計画や事業費を精査していくために、事業の進捗状況、劣化状況調査等の結果を確認しながら、定期的な見直しを実施し、推進することとします。

参考資料 国庫補助事業の概要

公立学校施設整備事業の概要

学校教育の機会均等の確保と水準の維持向上を図るため、「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律」等に基づき、公立学校建物（小中学校、義務教育学校、特別支援学校、幼稚園等の校舎・体育館等）の施設整備に要する経費の一部を国庫負担・補助することにより学校教育の円滑な実施を担保する。

【主な国庫負担・補助事業】

事業名	負担（算定）割合	事業の内容
新 増 築	1/2	校舎、体育館等の新增築（教室不足の解消、学校統合）
改 築	1/3	構造上危険な状態にある建物、耐震力不足の建物、津波浸水想定区域内の移転又は高層化を要する建物等
	1/2（嵩上げ）	Is値（※）が0.3未満の建物のうち、やむを得ない理由により補強が困難なもの
	1/2	南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域における集団移転促進事業に関連する学校建物の高台移転等
地震補強	1/2（嵩上げ）	地震による倒壊の危険性があるもの（Is値0.3～0.7未満）
	2/3（嵩上げ）	地震による倒壊の危険性が高いもの（Is値0.3未満）
大規模改造	1/3	老朽化に伴う補修、既存の学校建物の改修（老朽改修（令和4年度まで）、トイレ改修、空調設置、障害児対策（令和3年度から行われるものは、算定割合1/2）等）
長寿命化改良	1/3	構造体の劣化対策を要する建物の耐久性を高めるとともに、現代の社会的要請に応じる改修（※令和2年度より、長寿命化を図る前提で実施する予防的な改修工事を補助対象。）
統合改修	1/2	学校統合に伴って実施する既存建物の改修
防災機能強化	1/3	避難所として必要な学校施設の防災機能強化（非構造部材の耐震対策、避難経路・備蓄倉庫の整備、避難所指定校への自家発電設備の整備 等）
学校給食施設	1/2（新增築）	学校給食の開設及び学校給食の改善充実のための学校給食施設の整備
	1/3（改 築）	
武 道 場	1/3	中学校等の柔道場、剣道場等の整備
太陽光発電等設置	1/2	太陽光発電等の再生可能エネルギーの整備（太陽光パネルの設置、太陽熱利用設備・風力発電設備の整備、太陽光パネル設置校への蓄電池の整備）
そ の 他	1/3	屋外環境（グラウンド等）、木の教育環境、学校プール、高校の産業教育施設、社会体育施設等の整備、特別支援学校の用に供する既存施設の改修（※令和2年度から令和6年度に行われるものは、算定割合1/2。）

義務教育諸学校の新増築 : 公立学校施設整備費負担金
 その他すべて : 学校施設環境改善交付金

※ Is値（構造耐震指標）：建物の耐震性能を表す指標。Is値が大きいほど耐震性が高い。
 Is値0.3未満 大規模な地震（震度6強以上）に対して倒壊または崩壊の危険性が高い。
 Is値0.3～0.6未満 大規模な地震に対して倒壊または崩壊の危険性がある。
 Is値0.6以上 大規模な地震に対して倒壊または崩壊の危険性が低い。

※公立学校施設整備事務ハンドブック【主な国庫負担・補助事業】（公立学校施設法令研究会）より引用。

弘前市学校施設個別施設計画

令和2年3月発行

令和3年10月変更

編集・発行／弘前市教育委員会 学校整備課

〒036-1393

青森県弘前市大字賀田一丁目1番地1

TEL：0172-82-1640